

1 題材名 和音の美しさを味わおう

2 題材の目標

- 和音の響きの変化を感じ取りながら、合唱したり合奏したりする学習やまとまりのある旋律をつくる学習に主体的に取り組む。  
(音楽への関心・意欲・態度)
- 和音やその移り変わりのよさや面白さなどを感じ取りながら、表現の工夫をしたり、音楽の仕組みを生かしたまとまりのある旋律をつくったりする。  
(音楽表現の創意工夫)
- 和音の響きを聴きながら、自分の声や音を調和させて表現したり、見通しをもって音を音楽に構成したりする。  
(音楽表現の技能)

3 主な〔共通事項〕 (ア) 旋律, 和声の響き, 調, フレーズ  
(イ) 変化, 反復

4 題材設定の意図

本題材は、小学校学習指導要領A表現(1)歌唱ア・ウ・エ、(2)器楽ア・イ・ウ・エ、(3)音楽づくりイの内容を受け、和音の響きの変化を感じ取りながら、各声部の歌声や楽器、全体の響き、伴奏を聴いて合唱したり合奏したりすること、また、和音に含まれる音を使ったり、音楽の仕組みを生かしたりして、和音及び和声の響きの美しさを味わうことをねらいとしている。児童は、これまでの様々な音楽活動を通して、旋律や音が重なり合うきれいな響きを感じ取るという経験を積んできている。5年生では「和音の美しさを味わおう」において、ハ長調のⅠ、ⅠⅤ、Ⅴ、Ⅴ7を中心として、和音の響きの美しさを味わってきた。本題材では、さらに、長調に加え、短調の和音の響きのちがいやその移り変わりも味わえるようにする。

本題材の指導にあたっては、まず、歌唱教材の「星の世界」において、和音の響きの美しさを味わえるようにする。本教材「星の世界」は、主な旋律と2つの副次的な旋律からなる三部合唱になっている。互いの声を聴き合いながら、主な旋律と2つの副次的な旋律を合わせて合唱をし、バランスに気をつけたり、全体の響きの中に自分の声が溶け込むようにさせたりすることで、和音の響きやその移り変わりを感じ取りながら表現できるようにしたい。

次に、器楽教材「雨のうた」では、器楽合奏を通してイ短調の響きやその移り変わりを感じ取らせる活動を行う。既習事項であるハ長調のⅠ、ⅠⅤ、Ⅴ、Ⅴ7で構成された部分と、本題材で初めて学習するイ短調のⅠ、ⅠⅤ、Ⅴ、Ⅴ7で構成された部分をリコーダーや鍵盤ハーモニカを使って、交互に演奏していくことで、長調と短調の和音の響きのちがいに気づいたり、旋律の重なり方のちがいに気づかせたい。また、低音部と伴奏に合わせて全体で合奏し、自分の音を調和させて演奏することができるようにしたい。

最後に、音楽づくりでは、これまでの歌唱や器楽での表現活動で感じ取った、和音の響きやその移り変わり、その働きがもたらすよさや面白さをもとに、物語のフレーズに合う旋律をつくる活動を行う。ここでは、児童の目的意識を高めるために、1年生と連携し、1年生の国語単元「むかしばなしを たのしもう」において、本学級の児童による読み聞かせを行うという場を設定する。つくった旋律を物語の中に入れてながら読み聞かせを行うことで、目的意識を高めるのと同時に、児童の興味・関心を高めることができると考える。子どもたちが「物語に合う旋律をつくる」という課題のもとに、物語の特徴から、調を選んだり、フレーズの特徴から、リズムや旋律を考えたりするなど、グループで活動をしていく場の設定をしていくことで、主体的で、協働的な学びが行えるようにする。これらの活動を段階を踏んで行うことで、和音の美しさをより感じられるようにさせたい。

5 教材について

- ・「星の世界」 川路柳虹 日本語詞／コンバース 作曲／飯沼信義 編曲
- ・「雨のうた」 鹿谷美緒子 作曲
- ・「ねずみのよめいり」 鈴木悦夫
- ・「さるとかに」 小沢 正
- ・「こぶとりじいさん」 渋谷 勲
- ・「さる地ぞう」 小沢 正
- ・「した切りすずめ」 木暮正夫
- ・「おむすびころりん」 香山美子
- ・「もも太郎」 こわせ・たまみ
- ・「ぶんぶくちやがま」 鶴見正夫

6 題材の評価規準

ア 音楽への関心・意欲・態度	イ 音楽表現の創意工夫	ウ 音楽表現の技能
①各声部の歌（歌声や楽器の音）や全体の響きに興味・関心をもち、自分の声や音を友だちの声や音と調和させて歌ったり演奏したりする学習に主体的に取り組もうとしている。	①音の重なり、和音やその移り変わり、音楽の縦と横の関係を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さなどを感じ取りながら、声を合わせて歌う表現を工夫し、どのように歌うかについて自分の考えや願い、意図	①主な旋律や副次的な旋律、全体の響き、伴奏を聴きながら、和声の響きの違いや旋律の重なり方の違いを生かして、自分の音を友だちの音と調和させて演奏している。

<p>②和音の響きやその移り変わりなど音楽の仕組みを生かし、音を音楽に構成することに興味・関心を持ち、見通しをもって音楽をつくる学習に主体的に取り組もうとしている。</p>	<p>をもっている。 ②和音やその移り変わりを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さなどを感じ取りながら音楽の仕組みを生かし、音を音楽に構成して物語のフレーズに合った旋律をつくるための工夫をし、つくる音楽やその方法などについて自分の考えや願い、意図、見通しをもっている。</p>	<p>②和音に含まれる音を使ったり、音楽の仕組みを生かしたりしながら、見通しをもって音を音楽に構成している。</p>
--	--	--

## 7 学習活動と評価の計画（9時間扱い）

次	ねらい	主な学習活動	〔共通事項〕	題材の評価規準
第1次 (2)	○和音の響きやその移り変わりを感じ取る。	<p>㊦「星の世界」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・旋律と和音の関わりを確認しながら旋律を歌う。</li> <li>・和音の響きを感じ取りながら歌う。</li> <li>・互いのパートや伴奏の響きを聴きながら、合唱する。</li> </ul>	旋律 和声の響き	アー①  イー①  ウー①
第2次 (2)	○長調と短調の和音の響きや旋律の重なりの違いを感じ取る。	<p>㊦「雨のうた」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・長調と短調の響きの違いを感じ取りながら、表現の仕方を工夫して演奏する。</li> <li>・旋律の重なり方のちがいを生かして、合奏をする。</li> </ul>	旋律 和声の響き 調	イー①  ウー①
第3次 (5) 本時は 第4時	○和音に含まれる音を使って即興的に旋律づくりをする。	<p>㊦物語のフレーズに合う旋律づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・和音に含まれる音と2分音符を使って、旋律をつくる。</li> <li>・リズムを変えて、旋律をつくる。</li> </ul>	旋律 フレーズ 和声の響き 調 反復 変化	アー②
	○既習曲を比較し、曲の特徴を理解する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・感じの違う3曲を比較し、曲の特徴にはどんな違いがあるかを話し合う。</li> </ul>		イー②
	○物語のフレーズに合う旋律をつくる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・物語の内容やフレーズの特徴から、どんな音楽にするかを話し合う。</li> <li>・使う音を考える。</li> </ul>		イー②
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・リズムを工夫したり、反復や変化を生かしたりして、旋律をつくる。</li> <li>・録音したものをもとに、自分たちの作品を見直す。</li> <li>・前時での見直しをもとに、旋律を修正し、物語のフレーズに合わせて演奏してする。</li> </ul>		イー②  ウー②

## 8 本時の学習（第3次、第4時）

### (1) ねらい

物語のフレーズの特徴からリズムを工夫したり、つくった旋律を聴いたりする活動を通して、物語のフレーズに合った旋律をつくる。

### (2) 準備・資料

ワークシート、タブレットPC、五線譜ボード、リズムパターンシート、鍵盤ハーモニカ

### (3) 学習の展開

学習内容と主な学習活動	・教師の働きかけ（◆評価規準）
<p>1 本時の学習課題をつかむ。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>物語のフレーズに合うせん律をつくらう。</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・前時までの振り返りとして、「星の世界」「雨のうた」を演奏することにより、長調と短調の響きのちがいを感じ取らせる。</li> <li>・本時の課題、活動の流れを確認し、見通しをもたせる。</li> </ul>

## 2 旋律づくりをする。

(1) 旋律づくりのルールとつくり方を確認する。

### 【ルール】

- ・ハ長調もしくはイ短調
- ・4分の4拍子 8小節
- ・和音進行は、I → IV → V → I に限定する
- ・A + A' もしくはA + Bの形にする
- ・4小節目の終わりは、続く感じにする
- ・最後はド(イ短調の場合はラ)で終わる

(2) 前時までにグループで話し合った内容を確認する。

(3) 旋律のリズムの工夫をする。

## 3 つくった旋律を見直す。

(1) 録音(動画撮影)をする。

(2) 自分たちの作品を視聴する。

### 【確認ポイント】

- ・始め→中→終わりになっているか
- ・物語のフレーズに合っているか
- ・和音に合っているか
- ・A + A' もしくはA + Bの形になっているか

(3) 気付いた点や改善点について話し合う。

- ・○小節目が和音の響きに合っていないんじゃないかな
- ・ここのフレーズにリズムが合っていないよね
- ・4小節目の終わりが続く感じになっていないね

## 4 本時の学習のまとめをし、次時の学習課題をつかむ。

物語のフレーズに合う旋律を完成させよう。

・旋律づくりを行う上でのルールやつくり方を確認し、見通しをもって、まとまりのある旋律がつけられるようにする。

・前時に考えた音以外の経過音等を使ってもよいことを伝える。

・前時までにグループで話し合った、物語の特徴や選んだフレーズの特徴を表すために、どんなリズムや拍の流れにすればよいかなどをもとにリズムを工夫して旋律づくりが行えるように声をかける。

・活動が活発に進まないグループには、リズムパターンを示したり、選んだフレーズを一緒に読んだりすることで、見通しをもたせる。

・つくった旋律は、各グループの五線譜ボードに書かせることで、記録として残るようにする。

・スタディノートのカメラ機能を使って撮影し、客観的に視聴できるようにする。

・つくった旋律と調の和音、物語のフレーズ(歌詞)を合わせて演奏させる。

・視聴する際の確認ポイントを示し、改善点が明確になるようにする。

・自分たちの音楽を客観的に視聴したことで気づいたことをもとに、さらにまとまりのある音楽にするにはどうすればよいかを話し合わせる。

◆和音やその移り変わりを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さなどを感じ取りながら音楽の仕組みを生かし、音を音楽に構成して物語のフレーズに合った旋律をつくるための工夫をし、つくる音楽やその方法などについて自分の考えや願い、意図、見通しをもっている。(ワークシート、五線譜ボード、録音)

・学習カードに学習の感想を書くことで、本時の振り返りをさせる。

・本時の児童の活動への取り組みについて賞賛するとともに、次時では、本時の話し合いをもとに、旋律の修正を行い、物語のフレーズに合わせて演奏することを伝え、意欲づけを行う。

物語のフレーズに合う、  
せん律をつくろう。



《せん律をつける物語のフレーズ》

**【ステップ1】** 和音の構成音から、音を選ぼう！

	1小節目(I)	2小節目(IV)	3小節目(V)	4小節目(I)
ド				
シ				
ド				
	♪	♪	♪	♪

	5小節目(I)	6小節目(IV)	7小節目(V)	8小節目(I)
ド				
シ				
ド				
	♪	♪	♪	♪

## ステップ1で選んだ音に変化を加えよう!

	[Dashed border box]							
ド	①		②		③		④	
シ								
ド								

リズム

	[Dashed border box]							
ド	⑤		⑥		⑦		⑧	
シ								
ド								

リズム

## 【ステップ3】 つくったせん律を聴いて、確認してみよう!

- 始め・中・終わりになっているか
- 物語のフレーズに合っているか
- 和音に合っているか
- A+A' もしくは A+B になっているか

「さらにまとまりのある音楽にするために…」